

フクギ情報

福井県産【大麦・小麦】の
収量アップを目指して!!

JA福井県

No.1

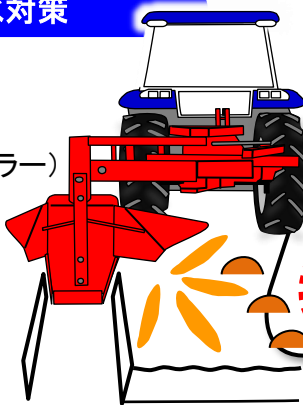
● 稲刈り直後から圃場準備が重要！！

播種前の圃場準備（排水対策や土づくり）をしっかり行うことで、生育は大きく変わります。稲刈り後は、好天の日にできるだけ早く圃場準備を行うことで、播種時期における天候不良時の対策や播種後の良好な苗立ちを確保することに繋がります。収量向上の為にまずは、適期・適正播種ができる圃場づくりに努めましょう。

1. 圃場準備のポイント

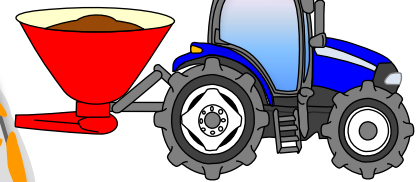
①排水対策

- 額縁排水
- 弾丸暗渠（サブソイラー）
- 明渠（中溝）



● 小麦圃場

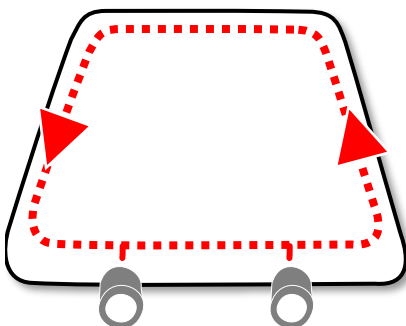
②土づくり



- 土壌改良資材散布

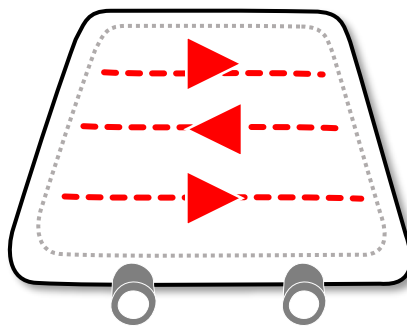
2. 排水対策のポイント

①額縁排水



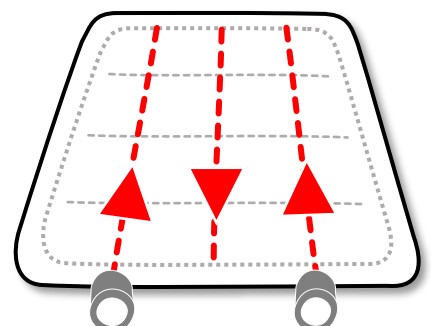
- 額縁排水溝は、水稻刈取後できるだけ早く行い、圃場の乾燥に努めましょう。
- 深さ：25cm以上
- 額縁排水溝の施工後は、排水口に接続する。

②補助暗渠(サブソイラー)



- サブソイラー補助暗渠は額縁排水溝設置後すぐに行い、額縁排水溝と連結し本暗渠と直交するように施工しましょう。
- 施工間隔：通常2～4m。排水が悪い圃場は、1.5～2mと狭くする。
- 施工深さ：約30cm
- 額縁排水溝を掘った後、排水溝底から引くように施工する。

③明渠(中溝)



- 圃場内排水溝の施工
- 深さ：25～30cm。
- 中溝間隔：5～30m。圃場条件、麦の播種作業に応じて設定する。（排水が悪い圃場は、播種1往復の間隔で中溝を施工）
- 排水口からは中溝を施工する（雨水の速やかな排水）
- 額縁排水溝や圃場内排水溝は、必ず排水口に接続する。（手直し実施）

3. 土づくりのポイント

- 小麦の好適な土壌pHは、6.2～6.9とされています。安定的な生育・収量・品質を得る為には、土壌pH6.5を目標に土壌改良資材を施用しましょう。
- 麦豆一番：60～80kg/10a または、ケイカル：200kg/10a＋ようりん40kg